

## 若者の人口流出を抑制するための方策について

～元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市を支える  
地域づくり～



岐阜県飛騨市 中垣 由香

### 1. はじめに

#### (1) 研究の背景と目的

飛騨市は岐阜県の中でも人口減少率が極めて高く、「人口減少の先進地」と言っても過言ではない。岐阜県人口動態調査によると、平成27年度の転出の理由は10代から20代が職業上、10代では学業上となっており、特に若い世代が職業上や学業上を理由として転出し、平成元年以前から転出超過の状況である。

平成28年度学校基本調査（確定値）によると、大学等進学率（高校卒業生数に占める割合）が54.8%と年々上昇傾向である中、大学等のない飛騨市において、進学等で一旦地元を離れることは仕方ない。しかし、飛騨で大切に育てた若者が出て行ってしまったままでは、地域で生活する者として非常に残念で仕方ない。若者に将来の生活の場として地元を選んでもらい、その思いを叶えられるようにすることが必要である。

そのために私達がすべきことは、「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」に向け、市の人口が減るという事実を客観的に受け止め、現在の施策に加え新たな視点からの施策を行うことではないかと考える。

本レポートでは、市内で行われている職業に対する取り組み事例などを参考に、飛騨市の若者が流出する原因を明らかにするとともに、現在の取り組みや地域との連携について検証し、飛騨市らしい方策について考察する。

#### (2) 調査の方法

ここでは、文献及びアンケート調査を用いて考察を行った。アンケート調査は、高校卒業後の転出者数が高いことから地元の高校生を対象に、将来、地元で働きたいと思うか、暮らしたいと思うか、そして、進路決定においてどのような思いや環境、周囲の助言等が影響しているのか調査した。

また、高校生のアンケートとは別に、客観的な意見を把握するため、高校生の子を持つ保護者や、地域活動に積極的に参加している方等からヒアリングを行った。これらを基に地域の課題に対し具体的な提言を行う。

### 2. 職業に関する地域の取り組み及び地元就職者の実情

若い人たちが地元の職業に興味や関心を持つための取り組みについて紹介すると共に、地元就職者の実情について述べる。

(1) わくわくワーク

飛騨市神岡町にある飛騨市立神岡中学校（生徒 164 名）では、神岡商工会議所青年部の提案により、平成 28 年度から同部の雇用促進事業として、全学年を対象とした「わくわくワーク」が開催されている。

この事業は、神岡商工会議所が主体となって長年実施していた「商工祭」が終了したことで、地元企業から、企業紹介の場を求める声が多く寄せられたことが契機となり、「子ども達に地元の企業を知ってほしい」、「中学生の内から自分の夢を持って早めに進路を選択し進学先を選んでほしい」さらには「人材不足が深刻なことから、地元で育った人材が外に出ていくことを抑制したい」という目的に立ち、神岡商工会議所青年部の提案を神岡中学校が快諾したことで実現した。

実施方法は、中学校の体育館に社会福祉法人や食品製造業、金融機関等の神岡町内の企業 18 社が参加し、指定のブース内で展示や体験等を実施している。生徒は、事前に配布された参加企業の一覧表から体験したい企業を 3 社選択し、当日はその企業のブースを訪問する。



写真 1 家作り体験

この事業を見学し印象的だったのは、とある建築業者では小さな家を建てたり（写真 1 参照）、某鐵工所では、製品の仕上がりを左右する「溶接」を生徒に体験させ（写真 2 参照）、ものづくりの難しさや面白さを直接体験させていたことだ。



写真 2 溶接体験

また、その他の企業でも、業務の一部を体験させ、パネルや映像を使って分かりやすい企業紹介を実施するなど、各社とも非常に趣向を凝らした内容であった。

この事業について中学校の教諭は、「高校生になって職業を選択するのは遅いため、ある程度中学生のうちから将来の職業について考えてほしい。この事業が良いきっかけとなってほしい」と語る。その背景には、地元高校の教諭から「将来の進路を高校生になってから考えるのは遅い」と言われていることがあるようだ。参加した企業からは「深刻な人材不足であり担い手もいないため、この事業により地元企業の魅力を知ってもらい、地元就職のきっかけとなってほしい」と語る。そして生徒は、「地元こんなにもたくさんの企業があることを知った」、「今年は、昨年行けなかった企業へ行けてとても面白かった」と語ってくれた。

神岡商工会議所青年部が行ったアンケートでは、見学内容について 8 割以上の生徒が「興味が持てた」と回答している。中でも 1 年生においては、将来の夢や目標があるかについて、事業前には「夢や目標を持っていなかった」と回答した生徒が約 70% もいたが、この事業をきっかけに約 1% の生徒が新たに夢や目標を持つことができた」と回答している。

また、生徒からの意見に着目してみると、「実際に体験することや直接話を聞くことで

新しい発見ができた」や「具体的な職業を目指すようになる」など、生徒たちにとって将来の夢や目標設定に繋がっていることが分かる。

この事業が企業紹介の場として、生徒に有効であり、さらには将来の夢や目標のきっかけづくりに一役を担っていると言える。

## (2) 中学校での職業体験学習

急速な社会の変化に伴い、子どもたちの生活にも大きな変化をもたらしている。これは、社会体験や自然体験等の直接体験が著しく不足していると指摘されており、職場体験の充実を図ることを目的に、全国の中学校では「職場体験学習」が行われている。

市内には2つの中学校があるが、古川中学校ではくふるさとを拓くをテーマに職業体験学習が実施され、身近に生きる人々の姿からふるさとものやくことを知り、く人への思いに気づくことで職業観を深めよう取り組まれている。

また、もうひとつの神岡中学校では、く自己やふるさとを再発見する力をテーマに町内の30以上の事業所の協力を得て職業体験学習が3日間実施されており、生徒は実際に与えられた仕事を通して、働くことの意義と目的・職場で働く人からの援助・自己の生き方と将来への夢を学ぶ。生徒からは、「こんなにも大変な仕事だとは思わなかった」「思っていたよりも楽しかった」等と様々な思いが聞けた。また企業側からは、「この経験が将来の仕事を考える時に少しでも役立ってくれたら」とこの事業に対する期待感が聞けた。

この取り組みは、私が中学生の頃から既に行われていた。当時私はいくつも選択肢があった中から母の職場を職場体験の場として選んだ。振り返ってみると、母の働く姿を直接見て体験できたことで、母の仕事に対する思いを実感し、働くことの大変さ、仕事を通じた地域との関わり、また、自分に向いている仕事かどうか等を子どもながらに考えたことを思い出す。この体験は私の現在の職業に大きく影響したことから、中学生の頃に職業について学び体験し、考えることが重要であると考え。

さらにこの体験学習は、生徒が直接働く人と接したり実際的な知識や技術・技能に触れたりすることで、学ぶことや働くことの意義を理解したり、生きることの尊さを実感したりする教育活動として重要な意味も持っている。生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲等を養うことができる意義ある教育活動として、各校での継続した取り組みを期待したい。

## (3) 地元就職者等の数

市内の県立高校2校で地元就職者の数を見てみると、平成28年度の就職者49人の内、市内の企業に就職した者は僅か6人(12.2%)しかいない状況である。また、UIターン者数は、平成27年度は11名、平成28年度は17名となっている。

これは飛騨市内企業において求人数が少ないという訳ではない。企業側では人材不足が深刻化しており、求人広告を出しても人材の確保は容易でないのが現状である。そのため、既存の就職情報の提供方法の見直しや工夫を行うとともに、高校卒業後就職する学生に限らず、一旦大学等進学のために地元を離れた若者にも卒業後の就職先として地元にも自分

の能力が発揮できる企業があることを知ってもらうための取り組みが必要である。

### 3. アンケート調査

現役高校生が地元で働くこと、生活すること、また、「その理由」に対し、率直な意見を聞くため、飛騨市神岡町にある県立飛騨神岡高校に協力を依頼し、全学年を対象としたアンケート調査(平成 29 年 12 月 19 日実施)を行い、205 名中 181 名の生徒から回答を得ることができた。

#### (1) 地元で働くことに対する意識とその理由

「将来、地元で働きたいと思う」31.5%、「地元で働きたいと思わない」39.2%、「分からない」29.3%であった。

(図 1 参照)働きたいと答えた理由(複数回答)では、「住み慣れているから」が 23.9%と最も高く、次いで「地元が好きだから」19.5%、「家族の近くで暮らしたいから」14.5%、「地域に貢献したいから」13.8%であった。この回答で上位を占めたのは、暮らし方に関する

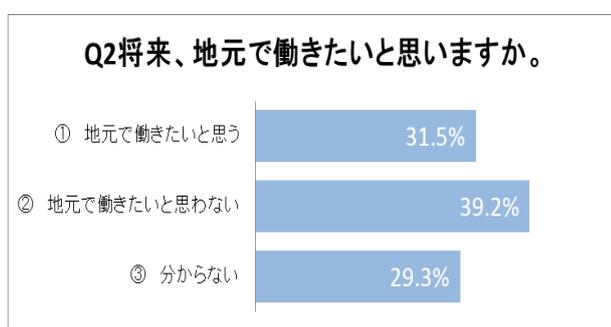


図 1 アンケート調査結果 Q2

ことであり「地元で就きたい仕事や企業があるから」と答えたのは僅か 8.8%と非常に低かったにも関わらず、地元で働きたいと思う生徒は 1 年生 18.8%、2 年生 32.3%、3 年生では 48.9%と学年が上るにつれ増加しており、3 年生の段階では約半数の生徒が地元で働きたいと考えている。

一方、「将来、地元で働きたいと思わない」と答えた生徒は 1 年生 43.5%、2 年生 41.5%、3 年生 29.8%と、「地元で働きたいと思う」と答えた生徒に比べ、学年が上っても割合の変動が少なく、「地元で働きたいと思わない」と考える生徒は増えていないことがわかった。

また「分からない」と答えた生徒は、1 年生で 37.7%、2 年生で 26.2%、3 年生で 21.3%となっており、3 年生の段階で 20%強の生徒が地元で働くことに関し魅力を感じることができないためか、判断できかねているようである。

ここで、「地元で働きたくない」と答えた理由(複数回答)の結果を見ると、1 年生の 1 位は「住んでみたい地域があるから」及び「他の地域で活躍したいから」が 26.3%だった。2 年生の 1 位は、「地元で就きたい企業や職業がないから」26.4%だった。ここから分析できるのは、1、2 年生の未だ進路が定まっていない段階では、地元以外の地域や大企業等への憧れを漠然と抱いているため、地元以外で働きたいと回答していることが読みとれる。だが、3 年生になると、「他の地域で活躍したいから」23.3%が 1 位となり、自分の力を試すには地元より他地域へ出る必要があると考える生徒が上位を占めていると考えられる。

#### (2) 地元で暮らすことに対する意識とその理由

地元で暮らしたいと「とても思う」が 15.6%、「どちらかという思う」が 41.3%、「あ

まり思わない」が 37.4%、「全く思わない」が 5.6%であった。(図 2 参照)

地元で暮らしたいと答えた理由(複数回答)では、「住み慣れた場所だから」が 26.8%と最も高く、次いで「地元が好きだから」が 21.7%、「自然が豊かだから」が 14.9%、「家族の近くで暮らしたいから」が 11.2%であった。この回答から、地元で生活したいと思う生徒は、生活環境に関する思いが極めて高いことが分かる。一方、地元で暮らしたいと思わないと答えた理由(複数回答)

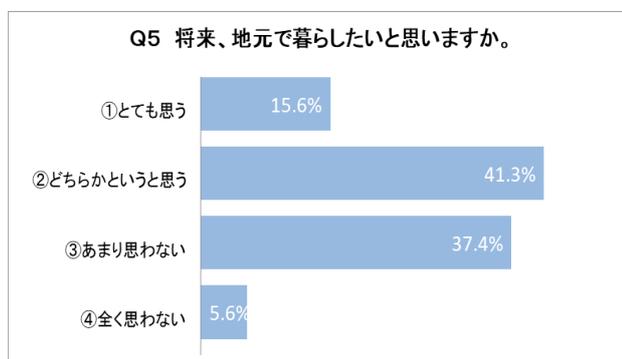


図 2 アンケート調査結果 Q5

では、「住んでみたい地域があるから」と「他の地域に憧れているから」が共に 22.9%と最も高く、次いで、「独立して一人暮らしをしてみたいから」21.8%、「他の地域で活躍したいから」20.1%であった。この回答から地元で暮らしたいと思わない生徒は、他の地域への憧れや現在の生活環境からの変化を望んでいる傾向が強いことが分かる。

### (3) 地元で働くときの職業のイメージ

地元で働くときの職業のイメージでは、「製造業」が 15.0%と最も高く、次いで「介護・福祉」が 13.8%、「公務員」が 12.5%、「飲食・サービス」が 11.5%、「建設業」が 10.9%であった。この割合は、市内の就業構造とほぼ一致しており、保護者や周囲の大人の職業が地元での職業をイメージさせていると推察する。

### (4) 地元にあ着を感じている者の割合

地元にあ着を「とても感じている」が 34%、「どちらかというと感じている」が 55%、「あまり感じていない」が 10%、「感じていない」が 1%であった。

「あ着を感じている」と答えた生徒の割合は、学年が上るにつれ 2 倍もの増加が見られ、あ着度が増していつていることが分かる。

このあ着度の増加は、市が推進する、「子どもたちが、ふるさとにおける様々な活動を通して『ひだびと』の生き方や考えを地域の方から学び、地域の行事へ積極的に参加する『ふるさと教育』」の成果が実を結んでいると推察する。

### (5) 進路決定の際、最も影響を受ける人について

進路を決定する際に誰からの意見や助言が最も影響を受けると思うかの問いでは、「母親」と答えた生徒が 37.7%と最も多く、次いで「父親」が 18.0%、「高校の先生」が 16.2%、「自分」が 12.6%であった。

「母親」と「父親」を合わせると 55.7%になることから半数以上の生徒が両親の影響を強く受けていることが分かる。

(6) アンケート調査から分かる課題

アンケート調査により、4つの課題が明らかになった。

一つ目に、将来、地元で働きたいと思う生徒が全学年で約 32%、地元で暮らしてみたいと思う生徒が約 57%と、若者の地元志向はあり、かつ愛着度も非常に高いにも関わらず、地元企業への就職意識に結びつける取り組みがされていない。

二つ目に、飛騨市で働きたいと思っている生徒も、「就きたい職業や企業があるから」と答えたのは 8.8%に留まっていること(図 3 参照)、働きたいと思っていない生徒では「就きたい職がない」と答える生徒が 21.9% (図 4 参照) と高いことから、2. で紹介した取り組みが行われているにも関わらず、地元での仕事に対し、魅力を感じてもらえていない実情が見受けられる。

三つ目に、地元へ愛着を感じる生徒の率が非常に高いにも関わらず、地元就職者の数に反映できていないことから、地元に住んでいる間だけ愛着を育てるのではなく、飛騨市から転出した後も引き続き地元との繋がりを持たせることが重要な鍵になると言える。

四つ目に、進路決定の際、最も影響を受ける人について半数以上の生徒が両親の影響を強く受けていることから、保護者に特化した施策も考えていく必要がある。

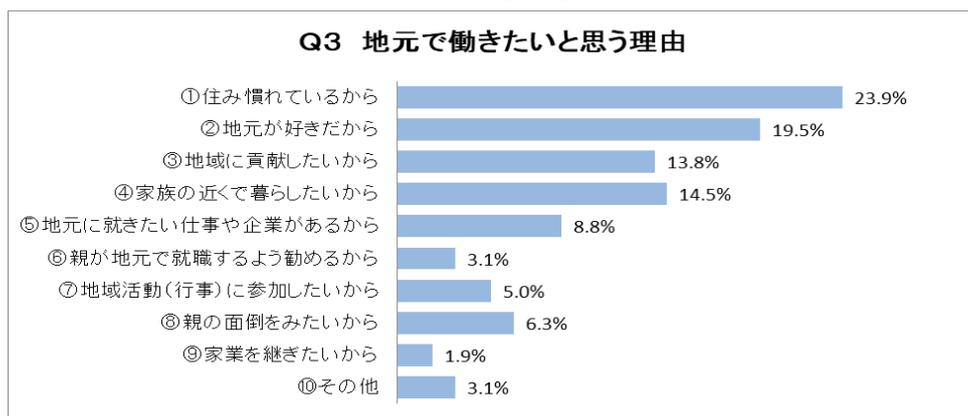


図 3 アンケート調査結果 Q3

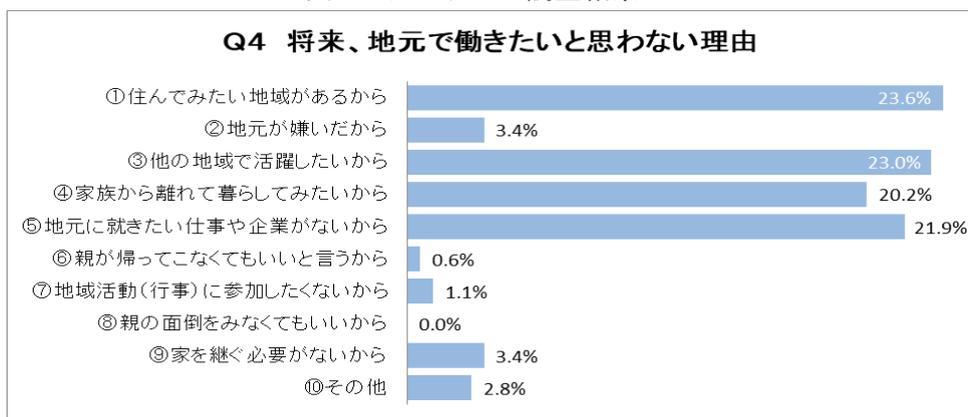


図 4 アンケート調査結果 Q4

#### 4. 先進事例の研究 ～兵庫県朝来市「ASAGO i NG人財育成プロジェクト」の事例

ここでは進学後のUターン者の減少が原因で人口が減少し、まちが衰退しているとして「自分たちのまちは自分たちで創る」の合言葉のもと、先駆的な取り組みを行っている兵庫県朝来市の事例を紹介する。

兵庫県朝来市では、朝来市で暮らす小さな子どもから小中高生、大学生、社会人、事業者までが、それぞれのステージで地域や社会とつながって、考えたりチャレンジしたりする場をつくることで、学校や職場など日常のヨコのつながりを飛び出して、いろいろな大人や子どもがタテやナナメにつながり、教科書だけでは得られないさまざまな学びに出会えるプログラムを展開している。

特に中高生の学びでは、従来の学校での学習に加え、答えがひとつではない課題に主体的に取り組み、自分の力で未来を切り拓いていくことが求められていることを受け、地域で活躍する多様な人との出会いの場を持つことで、大人の多様な生き方や考え方に触れ、自分でも気づいていない可能性を知るきっかけを作る場として「ASAGO i NGゼミU-18」を開催している。

学びの場のフィールドが地域であることや地域で活躍する多様な人と関わることで市民が自分の住んでいる、働いている都市に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らもこの都市を形成している、当事者であるという認識を自然に持つのだという。

飛騨市においても、このように若者と地域の人とつながることができる機会を作ることによって多くの人に出会い、自分の将来を思い描けるロールモデルとなる人を持てるような取り組みが必要ではないかと考える。大学等の進学先が市内にはないことから、一度は地元を離れることは仕方ないが、飛騨市の将来を切り開く人になってほしい若者達には、大学等へ進学した後もそこで得た知識や技術を活かす場として地元があることを伝えたい。

#### 5. 提言

転出者数の多い年代となる高校生において、地元で働きたい、暮らしていきたいと地元志向が高いことが明らかになったが、その多くの高校生が自分の就きたい職業が地元にはないと感じていることが分かった。

また、高校生は地元が嫌だからという理由で出て行くのではなく、活躍することができる場を他の地域に求めて転出する傾向が強いということも調査から伺うことができた。

そのため、若者の流出を抑制するためには、企業はもとより地域や学校、家庭が連携し、若者に地元で活躍する多くの人との出会いや、地元でも活躍することができる仕事や活躍することができる場があることを伝えるとともに、地元での就職に関する将来像を持ちやすくすることが必要であると考えます。以上のことを踏まえ5つの企画を提案する。

##### (1) 市内商工団体が連携して行う職場体験学習の開催

飛騨市では、商工団体が3つ存在しているが各団体では、地元企業が持つ技術や知識を知り魅力を発見しようと、ユニークで独自性の高い事業を繰り広げている。しかし、活動

範囲が限定されていることから、先に述べた神岡中学校での「わくわくワーク」では、神岡商工会議所に加盟している企業のみが参加し、神岡中学校に通う生徒のみが飛騨市内でも限られた企業の体験や紹介しか学ぶことが出来ず、各団体の価値ある取り組みが十分に紹介されていない。若者達への飛騨市の職業を学ぶ機会は平等でなければならぬため、中学生に行う職場体験学習は、商工団体の活動範囲によって区別されることなく、飛騨市にある職場として全ての市内中学生に対して体験場所として紹介、実施することが不可欠である。

例えば、中学生の夏休みの期間中、少人数のグループに分かれ 2 日間程度を授業の一環に位置づけ、インターンシップを行う。製造業や建設業など複数の業種を組み合わせることで多くの職種が体験できる。中学生のうちから地元にある伝統豊かな多くの職を学び体験することは、若者達に好奇心を持たせることができるとともに、地元志向が養われ、さらには仕事の大切さや大変さを学ぶことで家庭や地域の人への感謝の気持ちが増し、将来の目標設定がしやすくなるを考える。

## (2) 飛騨市で活躍する方と高校生が交流できる場の提供

アンケート調査で、「将来、地元で働きたいと思う」高校生が約 32%いるにも関わらず、「地元で就きたい仕事や企業がある」と答えた生徒が僅かしかいなかったことから、地元にある職業を多く知ってもらい、卒業後は社会人になる生徒も多いことから、飛騨市で働くことをイメージしやすくすることも必要である。

飛騨神岡高校では、飛騨市の企業に限らず様々な分野で活躍している方を招き、具体的な話を聞き視野を広げること目的として「社会人講話」を年 1 回開催している。平成 28 年度は、飛騨市神岡町に U ターンしてきた方が講師として招かれているが、どうしても他地域で活躍する人が講師として選ばれることが多い。そのため、飛騨市在住の方との交流できる場を提供することが必要である。

例えば、地元で新しいビジネスを始めた方や大企業での就職経験がある方、さらには長年伝統産業に携わってみえる方などを市がリストアップし、学校へ提供する。生徒は、そのリストから会ってみたい方を選び、生徒自らがアポイントを取り訪問する。訪問後は、学校で生徒同士の報告会を行い、情報の共有を図る。

こうした取り組みを通して、飛騨市で働くことや暮らすことに対して、良かったこと・苦労したことを直に聞くことができ、多くのロールモデルと出会うことで、〇〇さんのようになりたいという目標が持て、飛騨市で暮らす将来像が描きやすくなるを考える。

## (3) 異業種交流会の開催

市内商工団体と市が主催する経営者のための懇談会等は年 1 回開かれているが、経営者以外の交流会がない。そのため、企業に働く方や個人事業者の方が年に複数回、定期的に交流することで、大人は情報交換や人脈形成ができ、地域の産業・観光等の連携や活性化が促進されることが期待できる。その場に高校生も参加することで、若い人の視点や発想から新たな発見が期待されるとともに、高校生にとっても、地域のしごとを直に聞けるま

たとなない機会になると考える。

交流会開催にあたっては、これまで懇談会開催の経験がある市内商工団体と市が連携して計画し、毎回テーマを設定して開催する。そして、高校生と大人を繋ぐ役としてファシリテーターには移住者の方や町づくりに尽力されている方をお願いすることで、飛騨市に対する熱い思いも感じるのではないだろうか。

#### (4) 就職コンシェルジュの創設と企業情報の拡充

多くの生徒が地元で生活したいと考えているにも関わらず、地元での就職に結びついていないため、地元就職に寄り添った支援や、企業の情報発信に力を入れることが必要である。

そのため、希望者に飛騨市での就職相談や、個々の目的に応じた情報の提供を行い、地元就職に至るまでの総合的な支援を実施する。合わせてハローワークでは得ることのできない企業の福利厚生や休暇情報、さらには、飛騨市で就職したときの生活の全体像が掴めるように、生活コストの高い都市部と生活コストの安い飛騨市を比較した分かりやすい情報を Facebook やライン等のツールを使い、定期的に発信する。

こうした取り組みにより、今まで知ることが難しかった企業のリアルな情報を知ることができ、就職希望者にとっても企業にとっても、生活と仕事に密接した価値ある情報の提供ができると考える。

#### (5) 保護者向け就職セミナー等の開催

高校生の進路決定の際、両親の意見等が大きく影響を受けることが調査から分かった。これは大学等進学後の先にある就職活動にも影響を与えるといっても過言ではない。若い世代にとって就職や転職を考える際に最も心強い支えとなるのが両親ではないだろうか。

近年、若者達を取り巻く就職活動戦線は刻々と変化している。この数年は景気が回復し雇用環境が復調しつつあるため、就職氷河期を経験した保護者と就職活動の仕方は大きく違っているため保護者も理解しておくことが重要である。

そのため、就職情勢に合った地元企業ガイダンスや講演会、ワークショップなどを開催し、保護者にも最新の就職活動状況に合わせて地元企業の求人状況を知ってもらう場を提供する。また、企業情報とは別に、福祉や子育て、医療分野など市が行う魅力ある取り組みについて保護者にも分かりやすく説明する。

この開催により、飛騨市に住む保護者から地元企業の求人状況はもとより、飛騨市の魅力が子ども達に伝わり、そこから地元企業を選ぶきっかけとなり、地元就職者の増加に繋がると考える。

## 6. おわりに

このレポートでは、飛騨市から若者が転出していく現象をどのようにしたら抑制することができるのか、そのために行政としてどのような施策が必要かを考えてきた。このことは非常に難しい問題であり、短期間で解決できることでもなく、お金があればできるもの

でもなく、行政が出来ることも限られている。しかし、難しい問題だからこそ地域住民の結束が必要であり、若い力も活かすことが近道だと感じた。

現在、飛騨市では若い世代が中心となった独創的なアイデアによる町づくりが進みつつある。携わる人々の町づくりに対する思いは非常に熱く、それは活動する大人が飛騨市の将来を真剣に考え心から楽しんで実行しているからだと思う。今こそ、地域の盛り上げを高校生とも共有し、地元回帰へつなげる一つの道筋としていきたい。

地域で大切に育てた若者が他の地で活躍していることは非常にうれしいことだが、ぜひ、住み慣れた地元に戻り、町のために尽力している方々と手を組み、地域を支える原動力となってほしい。私も職員として、また地域の一員としてわくわくする飛騨市のために尽力したい。

最後に、本研究を進めるにあたり、熱心にご指導を頂いた東洋大学教授・全国地域リーダー養成塾主任講師の沼尾波子先生、全国地域リーダー塾の関係者の皆様、そして第 29 期のゼミ生、アンケートにご協力いただいた皆様、全国地域リーダー養成塾へ送り出してくださいました飛騨市役所の皆様に心から感謝申し上げます。

【参考文献・参考資料・ホームページ】

- ・泉 正悟 (2013)「職業体験を組み入れた職場見学ツアーの取り組みについて」東北職業能力開発大学校附属秋田職業能力開発短期大学校紀要  
<https://ci.nii.ac.jp/naid/110007607739>
- ・浦上 昌則 (2015)「中高生の時代のどのような生活経験が大学生の職業観に影響するのか」、『「アカデミア」人文・自然科学編』南山大学紀要
- ・馬袋真紀 (2017)「子どもから大人までタテ・ヨコ・ナナメのつながりが学びを育む - A S A G O i N G 人財育成プロジェクト」『地域づくり特集編』一般社団法人地域活性化センター
- ・神岡商工会議所青年部 (2017)「わくわくワークアンケート結果」『神岡商工会議所』
- ・岐阜県立飛騨神岡高等学校ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/hidakami-hs/>
- ・飛騨市役所ホームページ <http://www.city.hida.gifu.jp/>

参考資料

飛騨神岡高等学校 生徒の皆さんへ

## 町づくりに関するアンケートについて（お願い）

「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市」を目指して、町づくりを進めるにあたり将来の地域を担う高校生の皆さんを対象にアンケートを行うことにしました。

調査は無記名で行い、調査結果は他の目的には使用しません。現時点での皆さんの率直な思いをお聞かせください。よろしくお願いします。

飛騨市役所 企画部 総合政策課

### 【アンケート回答上の注意事項】

- ・ アンケートは全部で11問ありますが、回答した内容により質問数が違います。
- ・ 回答は、欄にチェックを入れてください。
- ・ 回答で、「その他」を選んだときは、具体的に記入してください。

飛騨神岡高等学校 \_\_\_\_\_ 年 組 性別 \_\_\_\_\_ 男 ・ 女

Q 1 あなたの自宅はどこですか。

- ①飛騨市 ②高山市 ③下呂市 ④白川村 ⑤その他 ( )

Q 2 あなたは将来、自分の地元で働きたいと思えますか。

- ①地元で働きたいと思う→次はQ 3へ進んでください。  
②地元で働きたいと思わない→次はQ 4へ進んでください。  
③分からない→次はQ 5へ進んでください。

Q 3 Q 2で①と答えた方にお聞きします。

地元で働きたいと思う理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。) →次はQ 5へ進んでください。

- ①住み慣れているから ②地元が好きだから ③地域に貢献したいから  
④家族の近くで暮らしたいから ⑤地元で就きたい仕事や企業があるから  
⑥親が地元で就職するよう勧めるから ⑦地域活動(行事)に参加したいから  
⑧親の面倒をみたいから ⑨家業を継ぎたいから  
⑩その他 ( )

Q 4 Q 2で②と答えた方にお聞きします。

あなたが将来、地元で働きたいと思わない理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。) →次はQ 5へ進んでください。

- ①住んでみたい地域があるから ②地元が嫌いだから  
③他の地域で活躍したいから ④家族から離れて暮らしてみたいから  
⑤地元で就きたい仕事や企業がないから ⑥親が帰ってこなくてもいいと言うから  
⑦地域活動(行事)に参加したくないから ⑧親の面倒をみなくてもいいから  
⑨家を継ぐ必要がないから ⑩その他 ( )

Q 5 全員に質問します。あなたは将来、地元で暮らしたいと思えますか。

- ①とても思う ②どちらかと思う→①②を選んだ方はQ 6へ進んでください。  
③あまり思わない ④全く思わない→③④を選んだ方はQ 7へ進んでください。

Q 6 Q 5で①または②と答えた方にお聞きします。

あなたが将来、地元で暮らしたいと思う理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。) →次はQ 8へ進んでください。

- ①住み慣れた場所だから ②地元が好きだから ③地元で活躍したいから  
④家族の近くで暮らしたいから ⑤地元にかっこいい生き方をしている人がいるから  
⑥親が地元で生活するよう勧めるから ⑦地域活動(行事)に参加したいから  
⑧長男、長女だから ⑨自然が豊かだから ⑩親しい友人がいるから  
⑪その他 ( )

Q 7 Q 5で③または④と答えた方にお聞きします。

あなたが将来、地元で暮らしたいと思わない理由は何ですか。

(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。) →次はQ 8へ進んでください。

- ①住んでみたい地域があるから      ②地元が嫌いだから  
③他の地域で活躍したいから      ④独立して一人暮らしをしてみたいから  
⑤他の地域に憧れがあるから      ⑥親が地元に戻ってこなくていいと言うから  
⑦地域活動(行事)に参加したくないから      ⑧実家を継がなくていいから  
⑨親しい友人がいないから      ⑩その他( )

Q 8 全員に質問します。地元で働くことを考えるとき、どんな職種をイメージしますか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。) 職種が分からない場合は、その他の欄に思いつく会社や仕事の名前を記入してください。→次はQ 9へ進んでください。

- ①農林漁業      ②建設業      ③製造業      ④公務員      ⑤医療  
⑥介護・福祉      ⑦教育      ⑧飲食・サービス      ⑨宿泊業  
⑩電気・ガス・水道業      ⑪金融業・保険業  
⑫その他( )

Q 9 全員に質問します。あなたは、地元「愛着」を感じていると思いますか。→次はQ 10へ進んでください。

- ①とても感じている      ②どちらかというと感じている  
③あまり感じていない      ④感じていない

Q 10 全員に質問します。あなたは自分の進路を決定するとき、誰からの意見や助言が最も影響を受けると思いますか。最もあてはまる人にチェックをしてください。→次はQ 11へ進んでください。

- ①父親      ②母親      ③高校の先生      ④友人や先輩      ⑤塾の先生  
⑥自分      ⑦祖父母      ⑧その他( )

Q 11 全員に質問します。あなたが将来就職について考えるとき、企業の情報で欲しいと思うことはどんなことですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)

- ①給与のこと      ②休みのこと      ③就職に必要なスキル  
④社内の雰囲気      ⑤企業の魅力      ⑥企業で働く先輩などの意見  
⑦仕事の内容      ⑧その他( )

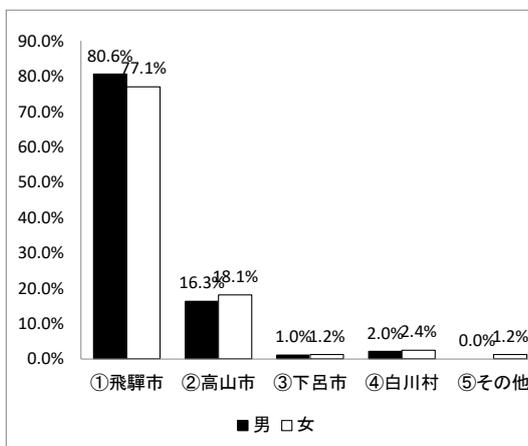
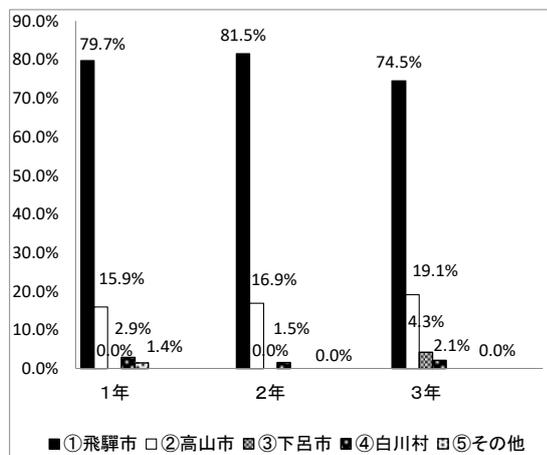
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

岐阜県立飛騨神岡高等学校 町づくりに関するアンケート 結果(平成29年12月19日実施)

回答者数	1年生	69名	2年生	65名	3年生	47名	合計 181名
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------

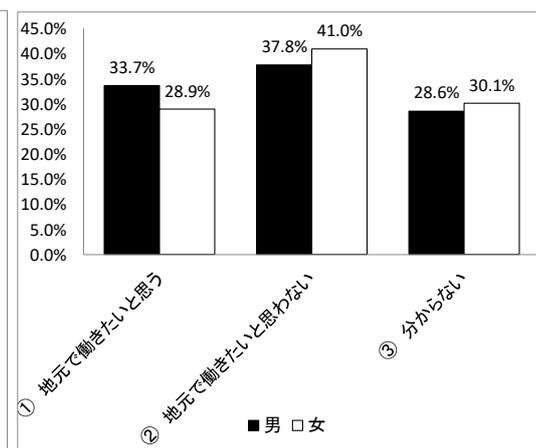
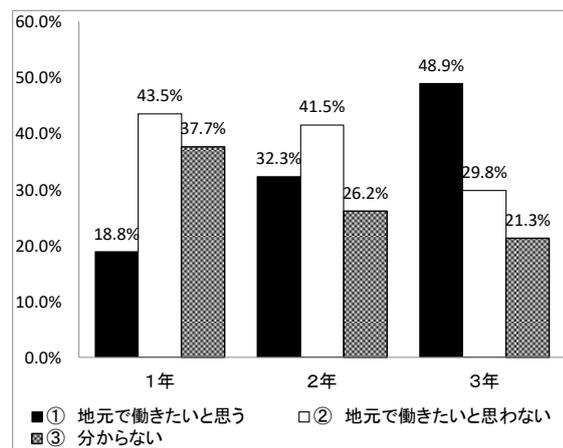
Q1 あなたの自宅はどこですか。

	1年	2年	3年	計	男	女
①飛騨市	79.7%	81.5%	74.5%	79.0%	80.6%	77.1%
②高山市	15.9%	16.9%	19.1%	17.1%	16.3%	18.1%
③下呂市	0.0%	0.0%	4.3%	1.1%	1.0%	1.2%
④白川村	2.9%	1.5%	2.1%	2.2%	2.0%	2.4%
⑤その他	1.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.2%



Q2 あなたは将来、自分の地元で働きたいと思いますか。

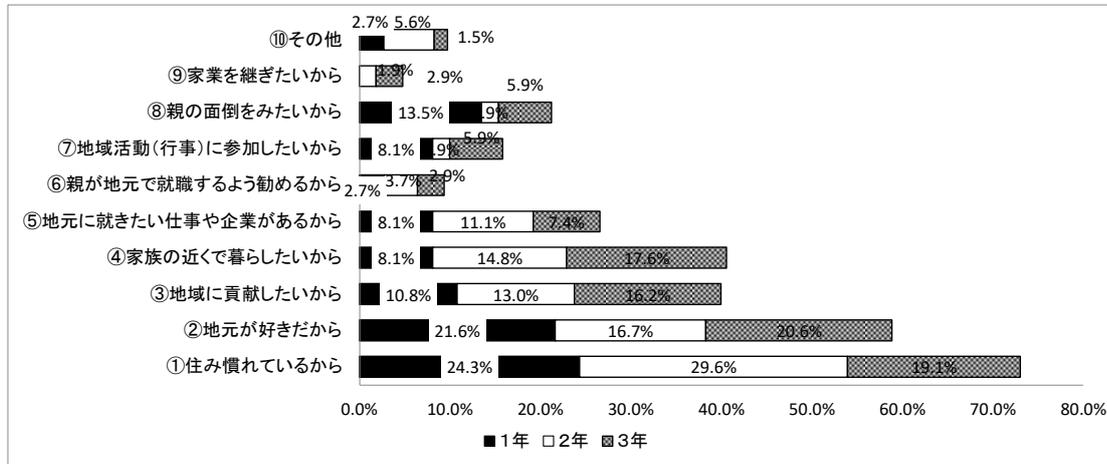
	1年	2年	3年	計	男	女
① 地元で働きたいと思う	18.8%	32.3%	48.9%	31.5%	34%	29%
② 地元で働きたいと思わない	43.5%	41.5%	29.8%	39.2%	38%	41%
③ 分からない	37.7%	26.2%	21.3%	29.3%	29%	30%



第29期 岐阜県飛騨市 中垣 由香

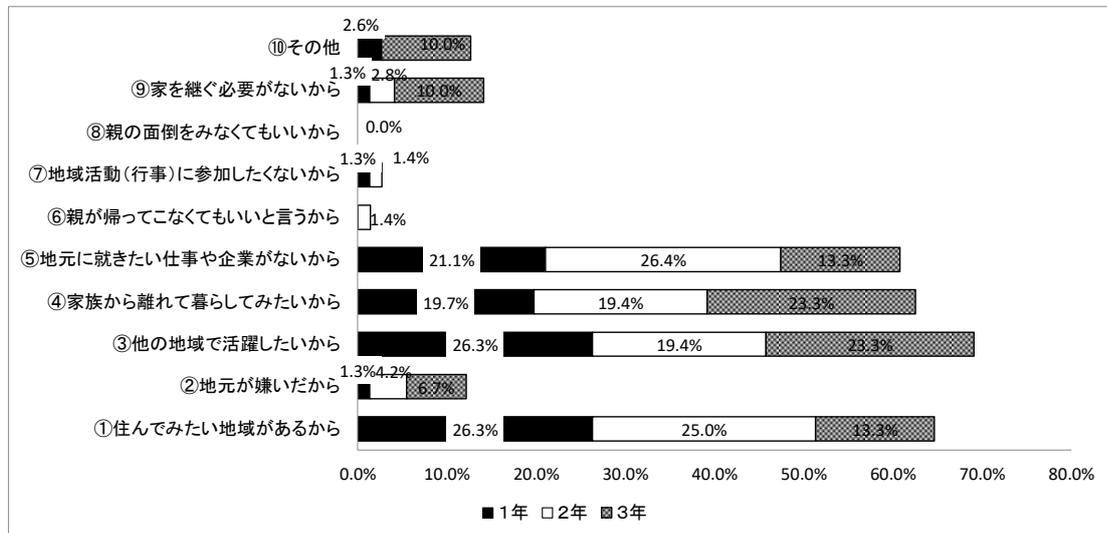
Q3 Q2で①と答えた方にお聞きします。地元で働きたいと思う理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)

	1年	2年	3年	計	男	女	
①住み慣れているから	24.3%	29.6%	19.1%	23.9%	28%	17%	その他 奨学金の関係 都会に興味ない 通うのが楽だから 峠が多い 友達とか先輩がいるから
②地元が好きだから	21.6%	16.7%	20.6%	19.5%	20%	19%	
③地域に貢献したいから	10.8%	13.0%	16.2%	13.8%	13%	16%	
④家族の近くで暮らしたいから	8.1%	14.8%	17.6%	14.5%	12%	19%	
⑤地元で就きたい仕事や企業があるから	8.1%	11.1%	7.4%	8.8%	8%	9%	
⑥親が地元で就職するよう勧めるから	2.7%	3.7%	2.9%	3.1%	2%	5%	
⑦地域活動(行事)に参加したいから	8.1%	1.9%	5.9%	5.0%	4%	6%	
⑧親の面倒をみたいから	13.5%	1.9%	5.9%	6.3%	6%	6%	
⑨家業を継ぎたいから	0.0%	1.9%	2.9%	1.9%	3%	0%	
⑩その他	2.7%	5.6%	1.5%	3.1%	3%	3%	



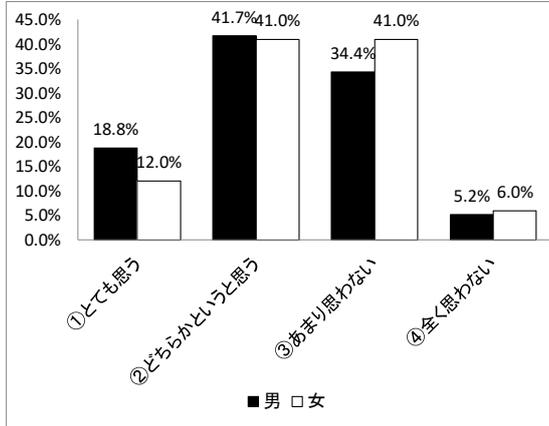
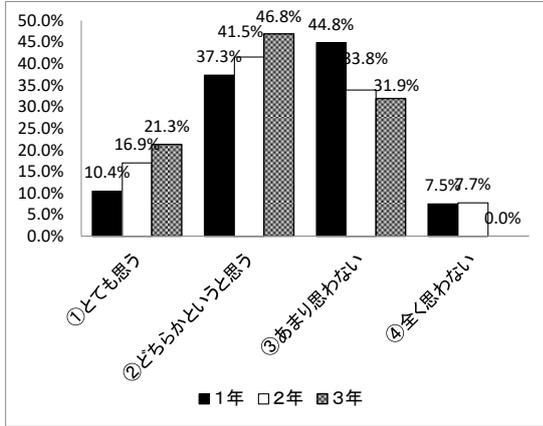
Q4 Q2で②と答えた方にお聞きします。あなたが将来、地元で働きたいと思わない理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)

	1年	2年	3年	計	男	女	
①住んでみたい地域があるから	26.3%	25.0%	13.3%	23.6%	22%	25%	その他 外に出てみたい 希望の企業に内定したから 単身赴任の親と仕事をするから 交通の便が悪い 通勤が不便 他の地域も見てみたい 田舎だから
②地元が嫌いだから	1.3%	4.2%	6.7%	3.4%	4%	3%	
③他の地域で活躍したいから	26.3%	19.4%	23.3%	23.0%	20%	26%	
④家族から離れて暮らしてみたいから	19.7%	19.4%	23.3%	20.2%	24%	17%	
⑤地元で就きたい仕事や企業がないから	21.1%	26.4%	13.3%	21.9%	18%	25%	
⑥親が帰ってこなくてもいいと言うから	0.0%	1.4%	0.0%	0.6%	1%	0%	
⑦地域活動(行事)に参加したくないから	1.3%	1.4%	0.0%	1.1%	2%	0%	
⑧親の面倒をみなくてもいいから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	0%	
⑨家を継ぐ必要がないから	1.3%	2.8%	10.0%	3.4%	4%	3%	
⑩その他	2.6%	0.0%	10.0%	2.8%	5%	1%	



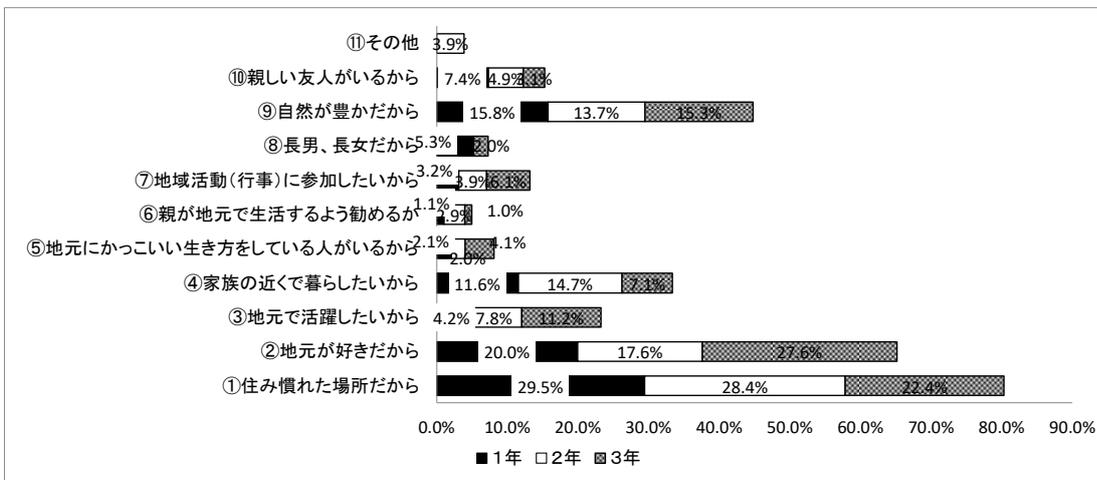
Q5 全員に質問します。あなたは将来、地元で暮らしたいと思いませんか。

	1年	2年	3年	計	男	女
①とても思う	10.4%	16.9%	21.3%	15.6%	18.8%	12.0%
②どちらかと思う	37.3%	41.5%	46.8%	41.3%	41.7%	41.0%
③あまり思わない	44.8%	33.8%	31.9%	37.4%	34.4%	41.0%
④全く思わない	7.5%	7.7%	0.0%	5.6%	5.2%	6.0%



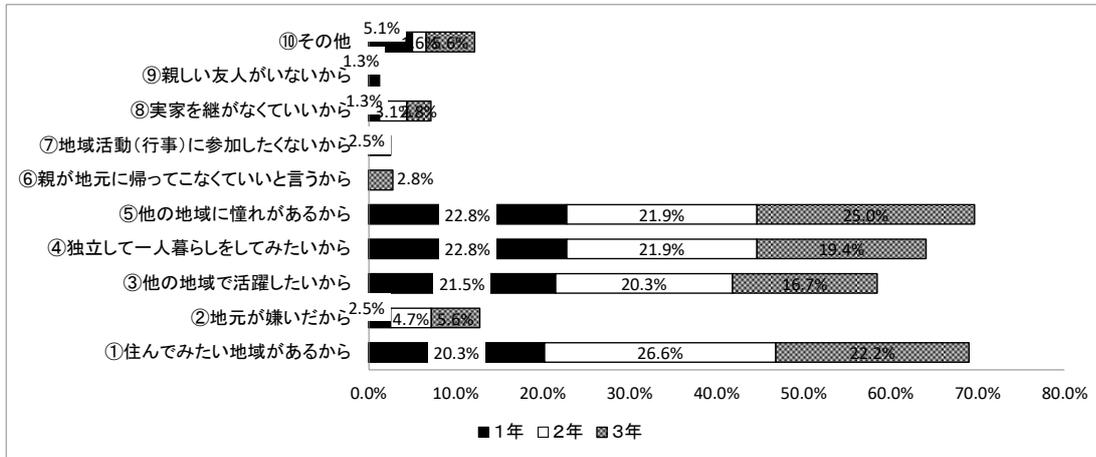
Q6 Q5で①または②と答えた方にお聞きします。あなたが将来、地元で暮らしたいと思う理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)→次はQ8へ進んでください。

	1年	2年	3年	計	男	女	
①住み慣れた場所だから	29.5%	28.4%	22.4%	26.8%	29.2%	23.6%	その他 親の世話をするから 都会に興味ない 楽だから 峠が多い
②地元が好きだから	20.0%	17.6%	27.6%	21.7%	20.8%	22.8%	
③地元で活躍したいから	4.2%	7.8%	11.2%	7.8%	7.1%	8.7%	
④家族の近くで暮らしたいから	11.6%	14.7%	7.1%	11.2%	10.7%	11.8%	
⑤地元にかっこいい生き方をしている人がいるから	2.1%	2.0%	4.1%	2.7%	3.0%	2.4%	
⑥親が地元で生活するよう勧めるか	1.1%	2.9%	1.0%	1.7%	0.6%	3.1%	
⑦地域活動(行事)に参加したいから	3.2%	3.9%	6.1%	4.4%	2.4%	7.1%	
⑧長男、長女だから	5.3%	0.0%	2.0%	2.4%	2.4%	2.4%	
⑨自然が豊かだから	15.8%	13.7%	15.3%	14.9%	14.9%	15.0%	
⑩親しい友人がいるから	7.4%	4.9%	3.1%	5.1%	6.5%	3.1%	
⑪その他	0.0%	3.9%	0.0%	1.4%	2.4%	0.0%	



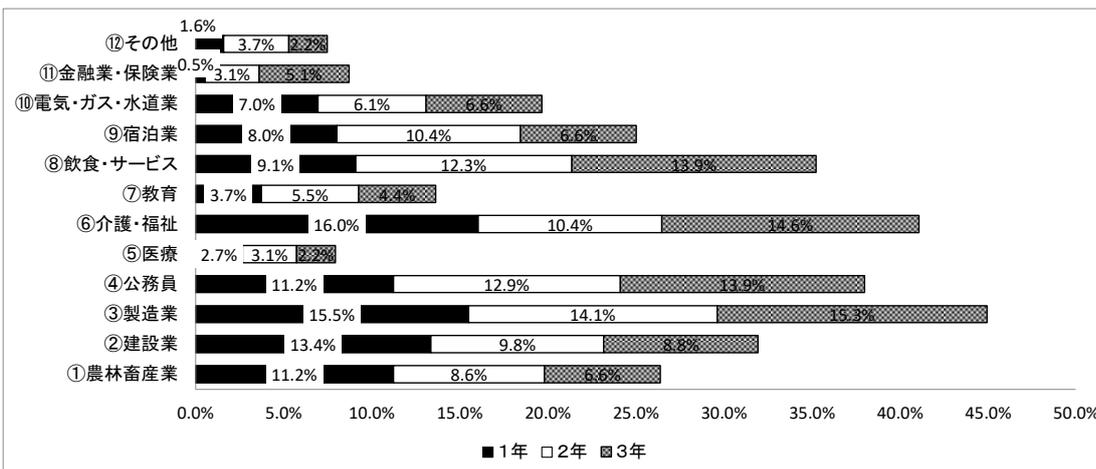
Q7 Q5で③または④と答えた方にお聞きします。あなたが将来、地元で暮らしたいと思わない理由は何ですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)→次はQ8へ進んでください。

	1年	2年	3年	計	男	女	
①住んでみたい地域があるから	20.3%	26.6%	22.2%	22.9%	19.8%	25.5%	その他
②地元が嫌いだから	2.5%	4.7%	5.6%	3.9%	4.9%	3.1%	・仕事がない ・いい仕事がない ・交通の便が悪い ・今はまだ分からない ・入りたい会社がない ・暮らしていくのが楽し、ガソリン代がそこまでかからない ・地元で働けそうな職業がないから
③他の地域で活躍したいから	21.5%	20.3%	16.7%	20.1%	14.8%	24.5%	
④独立して一人暮らしをしてみたいから	22.8%	21.9%	19.4%	21.8%	25.9%	18.4%	
⑤他の地域に憧れがあるから	22.8%	21.9%	25.0%	22.9%	22.2%	23.5%	
⑥親が地元に戻ってこなくていいと言うから	0.0%	0.0%	2.8%	0.6%	1.2%	0.0%	
⑦地域活動(行事)に参加したくないから	2.5%	0.0%	0.0%	1.1%	2.5%	0.0%	
⑧実家を継がなくていいから	1.3%	3.1%	2.8%	2.2%	2.5%	2.0%	
⑨親しい友人がいないから	1.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.0%	
⑩その他	5.1%	1.6%	5.6%	3.9%	6.2%	2.0%	



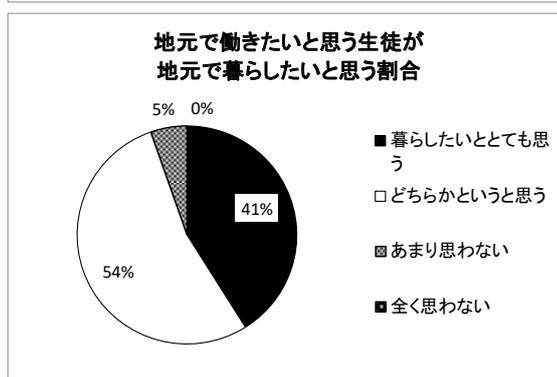
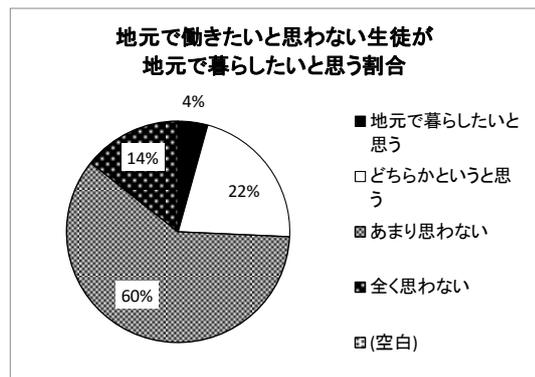
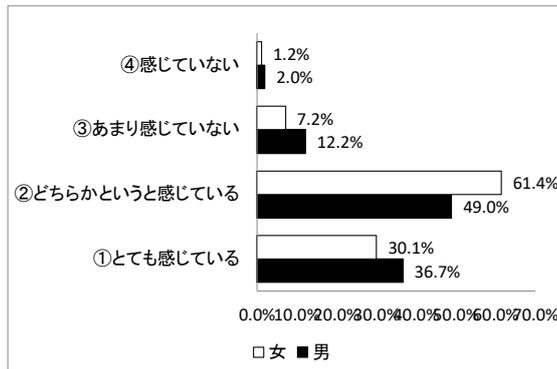
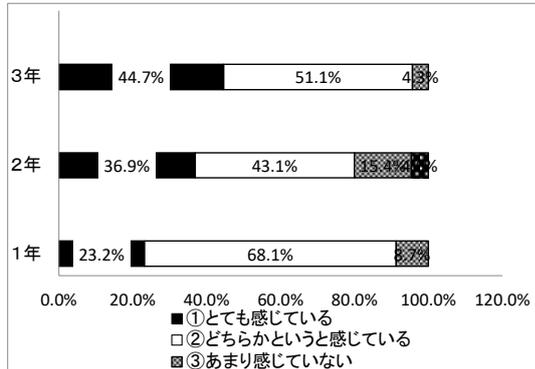
Q8 全員に質問します。地元で働くことを考えるとき、どんな職種をイメージしますか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)職種が分からない場合は、その他の欄に思いつく会社や仕事の名前を記入してください。→次はQ9へ進んでください。

	1年	2年	3年	計	男	女	
①農林畜産業	11.2%	8.6%	6.6%	9.0%	9.7%	8.3%	その他
②建設業	13.4%	9.8%	8.8%	10.9%	15.8%	5.3%	事務(2) 宿泊業 鉱山 美容師 司書 動物関係 プー太郎 自動車整備(2) 栄養士 機械、プログラム関係 ITゲーム
③製造業	15.5%	14.1%	15.3%	15.0%	18.5%	11.0%	
④公務員	11.2%	12.9%	13.9%	12.5%	13.1%	11.8%	
⑤医療	2.7%	3.1%	2.2%	2.7%	2.7%	2.6%	
⑥介護・福祉	16.0%	10.4%	14.6%	13.8%	9.7%	18.4%	
⑦教育	3.7%	5.5%	4.4%	4.5%	3.5%	5.7%	
⑧飲食・サービス	9.1%	12.3%	13.9%	11.5%	8.1%	15.4%	
⑨宿泊業	8.0%	10.4%	6.6%	8.4%	5.4%	11.8%	
⑩電気・ガス・水道業	7.0%	6.1%	6.6%	6.6%	9.7%	3.1%	
⑪金融業・保険業	0.5%	3.1%	5.1%	2.7%	1.9%	3.5%	
⑫その他	1.6%	3.7%	2.2%	2.5%	1.9%	3.1%	



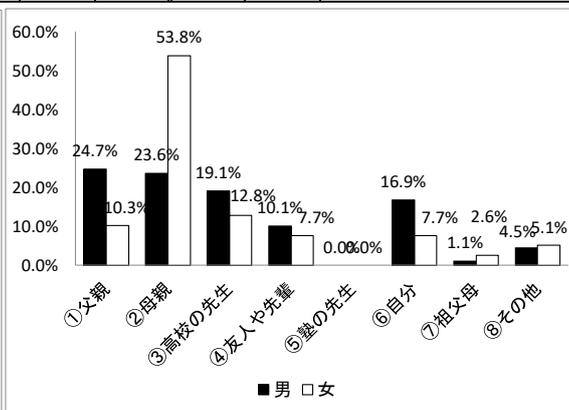
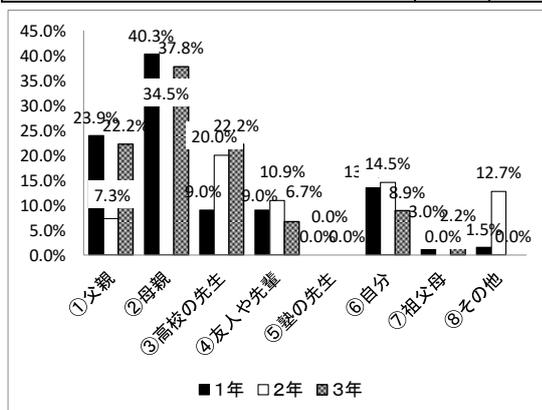
Q9 全員に質問します。あなたは、地元で「愛着」を感じていると思いますか。→次はQ10へ進んでください。

	1年	2年	3年	計	男	女
①とても感じている	23.2%	36.9%	44.7%	33.7%	36.7%	30.1%
②どちらかというと感じている	68.1%	43.1%	51.1%	54.7%	49.0%	61.4%
③あまり感じていない	8.7%	15.4%	4.3%	9.9%	12.2%	7.2%
④感じていない	0.0%	4.6%	0.0%	1.7%	2.0%	1.2%



Q10 全員に質問します。あなたは自分の進路を決定するとき、誰からの意見や助言が最も影響を受けるとお思いますか。最もあてはまる人にチェックをしてください。→次はQ11へ進んでください。

	1年	2年	3年	計	男	女	その他
①父親	23.9%	7.3%	22.2%	18.0%	24.7%	10.3%	姉(4) 両親(2) 兄弟 祭りのおっちゃん
②母親	40.3%	34.5%	37.8%	37.7%	23.6%	53.8%	
③高校の先生	9.0%	20.0%	22.2%	16.2%	19.1%	12.8%	
④友人や先輩	9.0%	10.9%	6.7%	9.0%	10.1%	7.7%	
⑤塾の先生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑥自分	13.4%	14.5%	8.9%	12.6%	16.9%	7.7%	
⑦祖父母	3.0%	0.0%	2.2%	1.8%	1.1%	2.6%	
⑧その他	1.5%	12.7%	0.0%	4.8%	4.5%	5.1%	



Q11 全員に質問します。あなたが将来就職について考えるとき、企業の情報で欲しいと思うことはどんなことですか。(最もあてはまるもの3つにチェックしてください。)

	1年	2年	3年	計	男	女	
①給与のこと	19.8%	25.8%	24.1%	23.1%	24.8%	21.1%	その他 企業理念
②休みのこと	12.7%	14.0%	13.1%	13.3%	13.3%	13.2%	
③就職に必要な技能や知識の有無	20.3%	16.1%	8.8%	15.8%	15.8%	15.7%	
④社内の雰囲気	17.8%	18.3%	21.2%	18.8%	17.6%	20.2%	
⑤企業の魅力	10.2%	4.3%	6.6%	7.1%	7.6%	6.6%	
⑥企業で働く先輩などの意見	4.1%	4.8%	5.8%	4.8%	4.0%	5.8%	
⑦仕事の内容	15.2%	16.7%	19.7%	16.9%	16.5%	17.4%	
⑧その他	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.4%	0.0%	

